



榛東村立南小学校

5年理科の授業実践を紹介します！

中部教育事務所

学校教育係指導担当 2022年2月発行

<授業のポイント>

①流れる水の働きに関する資料（写真・動画）により観察部分を焦点化させ、②児童の対話や気付いたことに対して教師が問い返すことにより、子供たちの考えが深まってきました。

この授業（単元）で育成したい資質・能力

知識及び技能

流れる水の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

流れる水の働きについて追究する中で、予想や仮説を基に観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、流れる水の働きを見出して表現する力を養う。

学びに向かう力、人間性等

流れる水の働きに関する事物・現象に進んで関わり、主体的に問題解決しようとする態度を養う。

<本時のねらい>

流れる水の働きと土地の変化を関係付けて考察し、自分の考えを表現することができる。

<ポイント① ~写真での気づきを土地の変化の観察に生かす~>

☆導入（これまでの学習を振り返る）の場面

T：増水時の川の写真から、流れる水にはどのような働きがあるのではないかと気付きましたか？

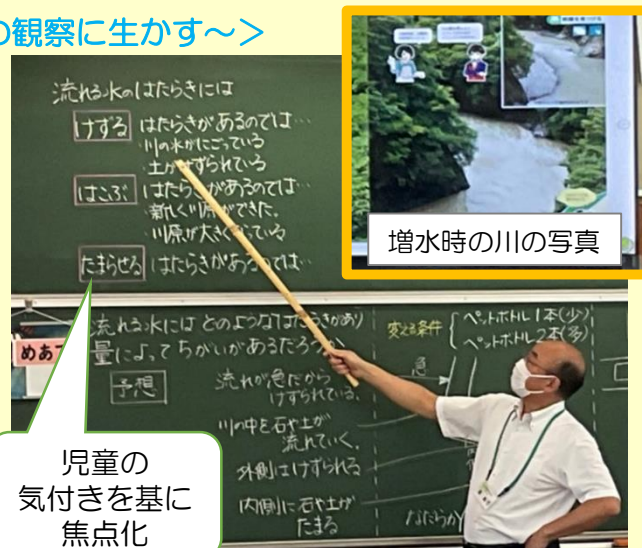
C1：「**けずる**」働きがあるのではないかと。

C2：「**はこぶ**」働きがあるのではないかと。

C3：「**たまるせる**」働きがあるのではないかと。

T：土地の変化（動画）の観察をする時には、特にこの3点に注目していきましょう。

■上記のようなやりとりを通して、前時に撮影した実験動画から、**3つの働きに焦点を絞って観察**することへつなげることができていました。



児童の気づきを基に焦点化

<ポイント② ~児童の対話や気付いたことに対して教師が問い返す~>

☆追究（子供の発想を引き出す）の場面

T：どんな発見ができた？

C4：石が転がってきたよ。

C5：水の流れがまっすぐの所では、**流れのまん中（の底の部分）が削られているよ。**

T：不思議だね。どうしてかな？詳しく聞かせて！

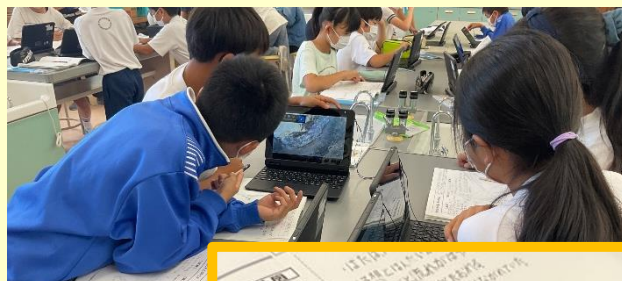
C6：水が石を運んだんだね。

C7：水が地面を削ったんだ！

C8：**水の量を増やしたら、もっと削られたよ。**

■児童は同じ班の友達の動画からも気づきを得ながら、自分の結果をワークシートにまとめました。

■**教師が児童の対話や気付いたことを取り上げ問い返す**ことで、児童は土地の変化の根拠となる水の働きを考えました。教師の支援により、児童は水の働きについて「自分で発見できた！」と、実感することができました。



ワークシート